

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業[市民の学習成果の発表の場提供事業]

「あなたにも書ける大人の絵日記—今日から始めてみませんか？」

を開催しました

平成24年9月16日・10月21日・11月18日の3日間、馬越直子さんを講師にお迎えし講座を開催しました。次のことがらは、先生からのポイント事項です。

★ 本当に何気ない日々の1日を，五感をフルに使って小さな出来事にも目を向けて，お気に入りのスケッチブックに描いてみましょう！

★ 忙しい日や気分が乗らない時は無理をしないで，楽しんで描きましょう！



★ 写真や記事も貼って自由に10人10色の絵日記を残しましょう！あとでながめてみると，とても楽しいものになります。

第1回目は講義のあと，スケッチブックに手近かにあるものをデッサンしました。携帯・自分の手・隣の人…を鉛筆で軽く描いてみました。影を付ける，全体のバランスを見るなど，最後に描いた作品を先生が見て下さいました。

学生時代絵がお好きだった男性の受講生も何人か混じったりして，和気あいあいの雰囲気の中，次回はデッサンした絵に彩色することになりました。

第2回目は最初に，彩色道具の説明や彩色で注意する点を説明されました。

彩色で注意する点は水彩画については，次のとおりです。

1 白の効用 2 水分のコントロール 3 バランスの意識 (①濃淡②陰影の統一③表情を付ける④引き締め効果) 4 失敗を恐れない



受講生の作品

先生が持参された落ち葉・かぼちゃ・野の花なども題材に，各自彩色していきました。その後，1人1人の作品を添削され，その周りには自然に受講生が集まり，先生の一筆一筆で生き生きしていく作品を見て，感嘆の声があがっていました。

第3回目の最終回はいよいよ各自の実際の絵日記です。受講生それぞれの絵日記を先生が添削していきました。海外旅行・国内旅行の思い出，果物・静物・風景を描かれた方など，彩色された作品はなかなかの出来映えでした。手直しの必要がないほど表情のある作品の方も…。



先生は絵日記を8年ほど続けられておいでとのこと。先生の次の言葉が心に残りました。

『皆さん，毎日がイベントの日でなくても，何気ない普通の1日でも，何か楽しい出来事を切り取って，絵日記にしたための！休んでもいいんです，無理を

しないで。—これが続けるコツです。』